

お知らせ

平成22年 9月10日

資料提供先 三次記者クラブ

「平成22年度地震防災訓練」を 実施します。

国土交通省中国地方整備局では、大規模地震による災害に対して、初動体制の早期確立及び被災状況の把握・伝達並びに応急対策の実施等に関し迅速かつ的確な判断・行動が行えることを目的として、地震防災訓練を実施します。

三次河川国道事務所では、初動対応訓練及び情報伝達訓練並びに早期復旧対策等を主に下記のとおり訓練を実施します。

記

・訓練日時 平成22年9月15日(水) 8:00~12:00

・訓練場所 災害対策支部 三次河川国道事務所4階災害対策室

三次市十日市西6丁目2番1号

問い合わせ先：国土交通省三次河川国道事務所

(担当) 副所長(公園) 元山 勉

(担当) 副所長(河川) 桝井 芳樹

(担当) 副所長(道路) 石川 庄嗣

(担当) 調査設計課長 丹後 浩一

TEL：(0824) 63-4121

FAX：(0824) 64-2240

URL：<http://www.cgr.mlit.go.jp/miyoshi/>

平成22年度 地震防災訓練の実施について

◆ 訓練の目的

この訓練は、大規模地震発生時において、迅速かつ的確な災害対策業務を遂行することにより、**二次災害・被害拡大の防止、円滑な復旧・復興に資するとともに、ひいては国民の安全、生命及び財産の保全**を目的とし、実施するものです。

◆ 訓練の概要

災害発生直後の災害応急対策の局面での初動体制の確立、江の川・馬洗川・西城川・神野瀬川と国道54号の被災状況の迅速かつ的確な把握・伝達及び災害復旧に向けた的確な指揮・対策のほか、関係地方公共団体等の被災状況の情報収集の訓練を実施し、防災体制の再確認を行います。

特に今回の訓練では、以下をポイントとして行います。

●訓練のポイント●

- ①災害情報の収集、伝達手段・方法・伝達系統等、災害対応に必要な基礎的事項の再確認。
- ②管内の地方自治体への支援体制の強化。(庄原市の豪雨災害を踏まえて)
(リエゾン(現地情報連絡員)※派遣訓練)

※リエゾン(現地情報連絡員)とは、Liaison、「つなぐ」という意味のフランス語。災害時の情報交換に関する協定においては、自治体に派遣される国土交通省の職員を指します。

今年7月12~15日の梅雨前線による豪雨では、三次市と安芸高田市へ、7月16日の庄原市の豪雨災害では、庄原市にリエゾンを派遣し、迅速な情報収集・伝達により減災・早期の災害対応に貢献したことを踏まえ、管内の3市(三次市、安芸高田市、庄原市)へのリエゾン派遣訓練を行うこととした。

◆ 訓練の想定

地震発生日時:平成22年9月15日(水) 8:00

地震名 :島根県東部地震(訓練)

震源地 :島根県安来市付近

管内の震度 :中国地方管内 震度7 ~ 震度4

三次河川国道事務所管内 震度5弱

三次河川国道事務所では、以下の災害を想定しております。

- ・ 国道の土砂崩壊、落石
- ・ 河川堤防の土砂崩壊
- ・ 河川管理施設の破損

◆ 訓練の内容

① 参集及び安否確認訓練

職員の緊急参集訓練及び安否確認訓練の実施

② 所管施設の点検訓練

庁舎、堤防、樋門、道路、橋梁等の施設点検を実施

③ 所管施設の被災状況把握・伝達・早期復旧対策に向けた訓練

被害状況等の状況把握、衛星通信車等による情報伝達訓練を実施

応急復旧対策工法の立案訓練

④ 地方自治体への支援体制の訓練

三次市、安芸高田市、庄原市へのリエゾン(現地情報連絡員)※派遣訓練

◆ 訓練の場所

三次河川国道事務所 4階 災害対策室

◆ その他

訓練当日の気象状況等によっては、訓練を中止又は延期する場合があります。

訓練状況イメージ（昨年度の訓練状況）

